

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公表番号】特表2007-508317(P2007-508317A)

【公表日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2006-534419(P2006-534419)

【国際特許分類】

C 0 7 H	15/24	(2006.01)
A 6 1 K	36/18	(2006.01)
A 6 1 K	36/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/704	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	13/10	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/08	(2006.01)
A 6 1 P	25/06	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	15/10	(2006.01)
A 6 1 P	5/10	(2006.01)

【F I】

C 0 7 H	15/24	C S P
A 6 1 K	35/78	C
A 6 1 K	35/78	X
A 6 1 K	35/78	Y
A 6 1 K	31/704	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	13/10	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	19/08	

ノピラノシル-21,22-O-ジアンゲロイル-3 , 15 , 16 , 21 , 22 , 28-ヘキサヒドロキシオレアン-12-エン

またはその塩、エステル、誘導体、または代謝産物から成るグループから選ばれる化合物

。 $C_{65}H_{100}O_{27}$

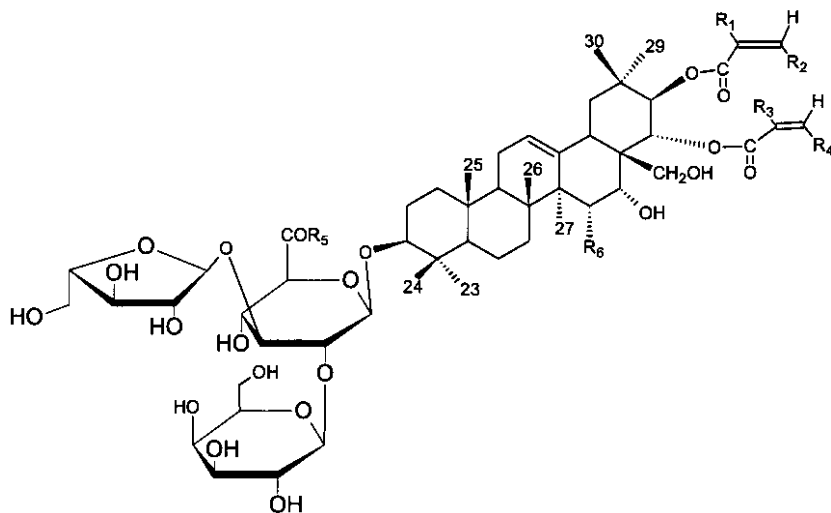
厳密質量：1312.6452

分子量：1313.4733

C, 59.44; H, 7.67; O, 32.89、

【請求項 2】

【化 2】



上式において、R1、R2、R3、およびR4は、短い脂肪族鎖であり、R5およびR6はオキシル基を含む式の化合物、またはその塩、エステル、誘導体、または代謝産物。

【請求項 3】

R1、R2、R3、およびR4は CH_3 を含み、R5はOHを含み、R6はHまたはOHを含み、位置23-27、29および30は、 CH_3 または CH_2OH または $COOH$ を含むことを特徴とする、請求項2の化合物

【請求項 4】

腫瘍またはガン細胞増殖を抑制することが可能な組成物であって、前記ガンは、乳ガン、白血球ガン、肝臓ガン、卵巣ガン、膀胱ガン、前立腺ガン、皮膚ガン、骨ガン、または脳のガンであることを特徴とする請求項1から3のいずれか一つの化合物の有効量を含む前記組成物。

【請求項 5】

請求項1から3のいずれか一つの化合物の有効量、および、製薬学的に受容可能な担体を含む製薬組成物。

【請求項 6】

Xanthoceras sorbifoliaから得られる治療的化合物の特定法であって、前記Xanthoceras Sorbifolia粉末は、Xanthoceras Sorbifolia天然木の種皮、枝、幹、葉、核、根、樹皮、または種殻から得られ、

(a)Xanthoceras Sorbifolia粉末を、適当量の有機溶媒によって適当時間抽出して、有機抽出物を形成すること；

(b)有機抽出物を収集すること；

(c)有機抽出物を有機溶媒と共に適当時間環流して第二抽出物を形成すること；

(c)第二抽出物から有機溶媒を除去すること；

(d)第二抽出物を乾燥し滅菌して、Xanthoceras Sorbifolia抽出物を形成すること；

(e)Xanthoceras Sorbifolia抽出物を(HPLC) 高圧液体クロマトグラフィーを用いて特

性解明すること；

(f) Xanthoceras Sorbifolia抽出物を、(HPLC) 高圧液体クロマトグラフィーの結果に基づいて成分に分離すること；

(g) 細胞傷害性に関して各成分をスクリーニングすること；

(h) 細胞活性アッセイを用いて各成分を分析し、活性成分を確定すること；

(i) 活性成分を精製すること；および、

(j) 活性成分における化合物の化学的構造をNMR分析によって確定すること

の諸工程を含む前記方法であって、

前記有機溶媒は、エタノール、メタノール、エーテル、クロロフォルム、アルコール、またはアセトンであり、

前記 Xanthoceras Sorbifolia粉末の、前記有機溶媒に対する比率は、1:2の比であり、

前記(a)の抽出工程は、4-5回で、各回20-35時間であり、

前記環流工程(c)は、2-3回実行され、

前記細胞活性アッセイはMTTアッセイである。

【請求項7】

サポニンを含む、Xanthoceras Sorbifolia抽出物を含む組成物であって、

前記 Xanthoceras Sorbifoliaから抽出物を調製する方法は、

i. Xanthoceras Sorbifolia粉末を、適当量の1種以上の有機溶媒によって適当時間抽出して、有機抽出物を形成すること；

ii. 有機抽出物を収集すること；

iii. 有機抽出物を有機溶媒と適当な時間環流して第二抽出物を形成すること；

iv. 第二抽出物から有機溶媒を除去すること；および、

v. 第二抽出物を乾燥し滅菌して、Xanthoceras Sorbifolia抽出物粉末を形成すること

の諸工程を含む前記方法であって、

前記 Xanthoceras Sorbifolia粉末は、Xanthoceras Sorbifolia天然木の種皮、枝、幹、葉、核、根、樹皮、または種殻から調製され、

前記有機溶媒は、エタノール、メタノール、エーテル、クロロフォルム、アルコール、またはアセトンであり、

前記 Xanthoceras Sorbifolia粉末の、前記有機溶媒に対する比率は、1:2の比であり、

前記(i)の抽出工程は、4-5回で、各回20-35時間であり、

前記環流工程(iii)は、2-3回実行されることを特徴とする方法。

【請求項8】

請求項7の抽出物の有効量を含む、腫瘍またはガン細胞増殖を抑制することが可能な組成物であって、前記ガンは、乳ガン、白血球ガン、肝臓ガン、卵巣ガン、膀胱ガン、前立腺ガン、皮膚ガン、骨ガン、または脳のガンであることを特徴とする組成物。

【請求項9】

尿量を低減する、または排尿頻度を下げる又は学習能力を向上させる組成物であって、請求項1から3のいずれか1つの化合物、または、請求項7の化合物の有効量を含む、前記組成物。